

獨逸に於ける幼稚園 教育の狀況

文部省 乙竹 岩造
視學官

本日フレイベル先生の薨去せられたる日に當り此總會に於て不肖私の如きものが御話申上げることを得るのは誠に光榮と存する次第であります。話題は「獨逸に於ける幼稚園保育の狀況」とも云ふべきものでありまして其一端を述べて御參考に致さうと存じます。

獨り獨乙のみならず歐洲の保育事業は最近に於て一新徴候を呈しました其徴候とは從來保育と云ふ仕事は教育政事上のものとして研究せられましたのに反し今日では更に社會見地上から研究する様になりしました、之れを分りやすく云ひますならば從來の幼稚園は學校の豫備の仕事をする所として居りましたのに反し家庭の代りをする所として研究する様になりましたのであります、實例を以て申しますと獨乙では近年國民幼稚園と云ふものが日に月に増加する氣運に向ひました、此國民幼稚

園と云ふ詞の中に云はれました國民とは國民學校の國民と同様の意味でありまして下層社會に位する人民を意味するのであります即ち下層社會の人民の子供の幼稚園が増加する様になりました例へば柏林で百以上の幼稚園中に中流以上のものはステブリッツのもの只一つでありまして其他は所謂國民幼稚園ばかりであります、斯く殆ど總ての幼稚園が下流社會の子供を收容する其獨乙の幼稚園は實に二大中心の下に集中せられて居る感があるのであります、其二大中心は何かと申しますと一つはフレイベル會一つはベスタロッツフレイベルハウスであります現時に於て前者の牛耳を取てゐるのはフロレンソツペンフワイム女史であります此女史はいかに亂暴なる子供でも其膝下に置けは直ちに懐くと云ふことを以て有名であります後者は其本據を柏林の郊外に近きセーネフェルに有し幼稚園保育の實際と保姆の養成とに従事しリヒター夫人が之れを卒ぬてをります。

此二者間に於ける差異點は前者は専ら幼兒の保育のみをとり後者は幼稚園時代の子供に小學校時

代のことを加へました即ちフレールとベスタロツチとの方法を同時にに行はんとしたのであります以上の如き有様でありますから近時獨乙に於ける幼稚園は我國のもの大に其保育法を異にしてをります然らば何故にかか新一徴候を來したかと思し申しますそれには世の自然の形勢が大に預つて力があります詳言いたしますれば最近生存競争が日に盛となり困難を感じ家庭の生活にも非常なる影響を受くる様になつたからであります昔は「世の中は品性陶冶の學校なり」或は「廻る浮世の子連など申しましたけれども今は火の車が廻る世となりました、故に家庭にも大なる影響をうけ子供の教育に盡力することが出来ぬ様になりました又工藝技術が進歩いたしました爲め夫妻共に働く様になり其結果として到底家庭に於て子供の教育を引き受けることが出来ぬ様になりました、加ふるに大都會の急激なる發達の結果三乃至八階上に住む人が生ずると同時に一二階地下に住む人もも生ずる様になりました其等下層人民の空氣は常に腐敗し光線は不充分であつて之等の子供は到底充

分なる發達をなし得ない有様となりました此に於て子供は學校に入る前に至々家庭に依頼することが出来なくなり其結果として國民幼稚園が大いに發達いたしました。幼稚園の設備が出来た以上は人民が其子供を依頼することを了解せよけれども之れを解するもの少なく又貧窮となつて自身の空腹を救ふために恩愛に迷ひながらも其子を捨つるものが多くなりました、此に於て一方には幼稚園の他に捨子又は捨てざるも親たちが殆んど養育し得ない子女等を收容する孤兒院、兒幼保育所、嬰兒救養所等の設備が並び發達する様になりました、之が最近に於ける保育の有様であります。

然らば更に進みましてかゝる保育に盡力する保母等は如何なる人であるかを考へますに保育事業が下層人民に向ふに反しまして之れに盡力する人は上流の人々であります例へばベスタロツチフレールハウスに於ては親が働かに行く際其子を預け置き歸りには「何番の子を下さい」と其子を受取りますのに反して同所に養成する保母は十分の七ま

では良家の人であります然して之等の人は何れも保母養成所を出ました後保育に従事するかと申しますのに決してそうではありませぬ、其一部分は従事いたしませんけれども他の部分は自身の修養のためにいたしません、児童保育所、幼児保護所、幼児保養所では其組を受け持つ人の他に子供と共に遊び共に散歩する人がありませぬ、之等は凡て自由意思から出るものでありまして何れも上流の婦人でありませぬ、かく上流の婦人が保育に盡力すると云ふことについての利益は一、子供によきことを知らせる 二、保育に従事する人はひまな時間を有益なことに用ゐます 三、保育問題が上流人の脳裡に浮ぶ様になりませぬ。

斯様に婦人が一般に保育事業に貧兒保護に興味を有し積極的に研究する様になりましたのは自然の勢ではありませぬけれども女子運動又預つて方があります、女子運動につきましても此所に論ずる必要なく別問題であります、又國狀の異なる以上は其れが我國に適するや否やは定まりませぬ、けれども或種の有益な問題につきましても研究しつつある

るは實に感すべきことでありませぬ、かかる有様で進歩いたしました女子運動は又幼兒の保育問題を捉へ有益なる方法を施さうとする氣運に向ひ上流人が益保育に盡力する様になりました。

日本婦人は育兒問題につきましても立派な事蹟がありまして歐州人の敬服する所でありませぬ、三十七八年の戦争の時連戦連捷の報は歐州に傳はり何れも自國の如く注意しました此時歐州人が我國をいかに觀察するかを見ることが出来ました、即ち歐人は日本人が舉國一致して團結力が強いことを認めました、又其他の日本の婦人が良妻賢母として姉妹祖母として家庭生活殊に國民の精神教育中に強大なる仕事をしたことを認めました、斯くの如く育兒につき其長所を承認せられし我婦人は其育兒の方法を大に工夫せんことをつとむべきであります。

然らば次には獨逸に於ける幼稚園の保育に關する方法につきましても述べませう、其最も特色とする所を云はば近時保育としては三つあります。

一、家族主義 幼稚園の内容を成べく家族的にせ

んとし組み合せの如きも成べく少なくして幼児も長幼を混じりた設備上よりも家庭的とし保母は母の如く幼児は兄弟姉妹の感を起さしめる様にす方針でありませす

二、勤勞主義 職業を尊重し勞働に對する興味を引き起さうとするものでありませす遊嬉に於ても安りに大人の舉動をなさしむるのではなく實際上の種々な材料によつて遊嬉訓話を組み立てる様にし

てをりますす
三、養護主義(体育主義) もとより精神陶冶を等閑に附するのではありませんけれども更に身体上一層の注意を拂ふのでありませす、幼稚園内に厩を設け牛乳を與へ食後は安眠させる等凡て身体上に重きを置きます、其子供は多くは貧民の子女でありませすから其點から見ると實に必要なことと思はれませす
幼稚園の仕事は或人も云ひました如く其の要領は發達でありませして發達は人間自然の現象でありませすから之れを放置するも發達いたしませすけれども適當なる發達をすることは出来ません、我國にも

一時幼稚園に對する批難の聲がありませして幼稚園の鑄型に入れるは最も悪しく子供は自然のままにすべきであると申しました、けれども自然のままにせよと云ふことは屢々放任の意義ともなりませして此聲は破壊的のものでありませすまた深切な要求ではありません

元來發達は自然でありませすけれども老年よりは青年、青年よりは幼児、嬰兒、胎兒と溯るほど最大なる發達をなすものでありませす、故に幼兒は人間中發達の盛な時でありませして保育は廣い意味に於ける教育中最も大切なものでありませす、然らば人間は身体の各部同じ様に發達するかと申しませれば決してさうではありません、或人の研究によりますれば十七八才になるまでに筋肉四十、心臓十二五骨二十六頭三七倍の發達をいたしませす、子供を其ま、擴大しますれば怪物の如くなるものであつて其發達の各部の比は常に同一ではありません複雑なる法によるものでありませす、精神の發達に於きませして凡ての子供の精神發達は同時に起り同一に發達するものではありません、運動觀念

は早く連合觀念は遅く發達するものであります。かく複雑なる發達は幼兒に於て最も大なりとせば幼兒保育は大に必要であつて又困難なるものと云ふべきであります。最後に子供は自然に放棄して發達するや否やにつきまして自然に放任せよと云ふ人もありますけれども之の尙一を知りて二を知らざるものと云ふべきであります、子供を自然に放任する時は悪くはなりても善くなることはありませぬ、子供は無邪氣なりと云ふも其性質果して善かと云ふに決してさうではありませぬ殘忍虚言破壞等は凡て小供にありませぬ、無邪氣と云ふは悪氣なしと云ふことにはよろしきも悪しきことをせぬと云ふ意味とするは誤であります、故に子供は或點までは悪しき心を有せり、されども發達し保育せらるるによりて悪しき萌芽も破られ善に向ふものなりと云ふは真理であります、之れによりて見ますれば保育によりて悪を減じ善に進めんとしまするには大なる方法、工夫を要するもので諸氏は之等につきて大に盡力研究せられんことを希望いたします。

◎豆腐の早造り (佐保安次郎氏)

△たつた一時間で出来る

此法だと大豆の粉さへあれば家庭で容易く豆腐が出来る。先づ大豆一升を粉に碎けば凡そ三百三十匁位になる、假りに一釜(飯炊釜)五升炊とすれば一貫五百五十匁の粉を前以て八九升の水に入れて之れを練りながら漸々水を加へ凡そ一斗位までにする、又冬季はマルマ湯にする、夏に角白くなるまで充分に能く練るのであるが必ず平手でしてはならぬ、又練る中に粉を握るとマ、子が出来ていくら煮ても解けはしない、豆腐の出来不出来は此練方一つにあるのだ、釜の湯は従前の量より三割方多くし、苦汁は従前の量より三割方少くする、出来上つたらばスグ喰へても宜いけれども春なら五六時間、夏は一時間、秋は三四時、冬は八時間から十二時間位經つて食すると風味が佳い。(讀賣新聞)

◎花嫁のせり賣 (報知新聞)

△馬市のやう

露西亞の田舎には花嫁をセリ賣にする奇習のある地方がある、即ちグチヤスク、クチエツカの兩市などがそれで鹽分繁華な市街であるが市日になると、近所近在から娘持つ親達は娘を今日を晴れと著飾らして連れて行つてズウリ列ねて數多の男子共に見せる、自分の氣に入つた娘があると男は頭の前から足の先まで能くく検査して夫から値ぶみをする、花嫁の相場は五圓以上二百圓まで、花嫁は其値段を納得すれば其處で承諾するのである。